

市 政 報 告

第448回 市議会定例会

9月4日

はじめに

7月28日に、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.1、最大震度7の地震が発生しました。8月20日時点で38名の方が亡くなられ、住家被害も2万棟を超えています。本市は、高知県と連携し、対口支援として熊本県氷川町に職員を派遣し避難所運営支援に当たるなど、被災地への支援を行っているところです。今回の地震は夏の猛暑の状況下で発生したものであり、厳しい暑さの中で避難所生活を強いられる状況です。改めて今回の熊本地震における国等の対応状況を把握し、本市の災害対策の再確認に努めます。

危機管理



防災関係

8月1日に「親子で防災体験バスツアー」を実施しました。香川県防災センターでの研修に親子9名が参加し、地震による揺れ体験や火災による煙体験、通報訓練、消火訓練を行いました。

交通安全関係

本年は県内で交通死亡事故などの重大事故が相次いでおり、本市でも、7月末現在で2件の交通死亡事故が発生しました。高知県警察本部では7月7日から48時間にわたり交通取締り等を強化するスクランブル交通対策を実施しました。これに併せて、本市でも朝の交通安全巡回

及び防災行政無線による注意喚起を行いました。

財政



令和7年度普通会計の決算状況は、歳入総額は対前年度比4億5,963万9千円、1.7%増の271億6万3千円、歳出総額は対前年度比5億8,162万8千円、2.2%増の266億9,051万3千円で、実質収支は2億7,230万4千円の黒字です。

地方債借入残高は令和7年度末で、対前年度比7億1,477万4千円、3.0%増の249億1,289万5千円です。財政構造の弾力性を示す経常収支比率は88.0%で対前年度比0.6ポイントの減となり、公債費負担の健全度を示す実質公債費比率は9.9%で対前年度比0.3ポイントの増でした。

税 務



令和7年度の市税徴収実績は、徴収額66億1,532万円、徴収率98.74%で、前年度と比較して徴収額で3億4,897万円の増収、徴収率で0.17ポイントの増です。個人住民税は3億円以上の増収、定額減税実施前の令和5年度と比較して2億円以上の増収です。法人市民税は約3,000万円の減収、固定資産税は約8,000万円の増収となり、軽自動車税は約1,000万円の増収です。市たばこ税と鉱産税は減収となりました。

民生



戸籍事務関係

戸籍法の改正により、5月26日から戸籍や住民票等に氏名の振り仮名が記載されています。本市を本籍地とする方へ、戸籍に記載される予定の振り仮名を記載した通知を発送し、誤りがある場合は届出により修正を行いました。なお、5月25日までに届出が行われず、職権で戸籍へ記載された振り仮名については、1回に限り家庭裁判所の許可なく届出のみで変更が可能です。

介護保険制度関係

令和9年度から令和11年度を計画期間とする第10期事業計画策定に向けて、8月19日に第1回南国市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定推進運営協議会を開催し、事業の振り返りや計画の骨子案についての説明をしました。今後は、中長期的な人口構造の変化や介護ニーズなどから介護給付費を見込み、介護保険料の試算等の作業を行うとともに、市民の皆様が住み慣れた地域で望む生活を続けられるよう、介護予防、在宅医療と介護の連携及び認知症施策などを含めた総合的な検討を進めます。

子育て支援



物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、0歳から18歳までの児童6,800人に対して、一人当たり2

環境



一般廃棄物は、分別収集に加え、雑ごみや粗大ごみで資源化が可能なものについては積極的にリサイクルを行うことで、焼却ごみや埋立ごみの減量に努めています。また、昨年10月から南国市公式LINEを活用した粗大ごみの受入予約を開始して、手続きの利便性の向上を図るとともに、粗大ごみの受入予約画面にはリユースプラットフォーム「おいくら」のリンクを載せ、リユースの推進も併せて行っております。

商工観光



観光関係

連続テレビ小説「あなばん」のレガシーを生かす取組として、ドラマの撮影に使用された小道具などを展示する「あなばんのナカミ展! vol.2」を南国市、香美市、香南市、物部川DMO協議会の主催で開催しています。

また、南国市観光協会では、市内の観光施設等を巡り、ドラマにちなんだクイズに挑戦しながら、重ね押しスタンプでイラストを完成させていく「クイズdeスタンプラリー」を7月18日から実施しています。

農林水産



国営ほ場整備事業については、継続して工事を行っている浜改田西部上区(11.5ha)、堀ノ内工区(2.5ha)に加え、新たに廿枝工区(8.6ha)で工事に着手しました。

営農面については、能間工区において株式会社下村青果商會が建設を進めておりました栽培面積約1.8haの次世代型ハウスが完成し、7月から養液栽培によるキュウリの営農を開始しました。

上下水道



基幹管路の地震対策は、中部水源地送水管耐震化工事及び久礼田水源地送水管耐震化工事を発注し、工事を進めています。その他関連事業として、JRR後免駅の駅前広場整備工事に伴う配水管復旧工事を発注し、工程協議を行っているが進めています。

建設



未普及対策は、篠原地区の汚水管渠整備工事を発注し、工事を進めています。

都市整備関係

JRR後免駅の駅前広場整備事業、駅前広場に隣接する駅前緩衝緑地公園等の再整備事業及びやなせたかしロード(市道後免1号線)のシンボルロードより西側の高質空間整備事業について、本工事を発注し、今年度内の供用開始を目指します。

住宅

住宅耐震化促進事業の受付状況は、7月末現在で、耐震診断が42件、耐震設計が50件、耐震工事が58件、コンクリートブロック塀の改修工事が12件です。

住宅確保要配慮者に対する居住支援については、居住支援法人、高知県宅地建物取引業協会、南国市社会福祉協議会、高知大学等に所属する委員で構成される南国市居住支援協議会の設立総会を8月17日に開催しました。今後は、協議会設置要綱に基づき、高齢者をはじめとする住宅の確保に特に配慮を要する世帯の賃貸住宅への円滑な入居の支援等について、官民連携による取組の検討を進めます。

教育



学校教育

姉妹都市・岩沼市との児童生徒交流は、8月26日から南国市の中学生4名と小学生2名が岩沼市を訪問し、震災遺構に触れながら防災学習を行い、28日には岩沼市立玉浦小学校、玉浦中学校の児童生徒と交流を深めました。学校での水泳授業について

企画



姉妹都市・岩沼市との交流事業については、8月22日に岩沼市で開催された「いわぬま市民夏まつり」に西本議長をはじめ6名で参加しました。祭り会場

消防



では新生姜、四方竹の炊き込みご飯の素及びシャモ番長グッズ等を販売し、本紙の地場産品をPRしました。

本年1月から7月末までの出動状況は、火災出動は昨年より11件多い24件、救急出動は、昨年より30件少ない1,931件でした。全国的に7月上旬から、高温多湿の日が急増しており、熱中症疑いの救急搬送も昨年同期と比較して5件多い39件でした。広報6月号に熱中症予防の記事を掲載するとともに、南国市公式LINE、防災行政無線及び救急車などを利用し、市民の皆様にご注意を呼び掛けております。

火災予防については、東京都で発生した小学校火災を受け、市内小中学校へ立入検査を実施し、消防用設備の適切な維持管理の確認と、電気火災等についての注意喚起を行いました。

8月に少年消防クラブがサマーキャンプ及び防災学習会に参加し、消防や防災について学習を行いました。

消防人材の確保については、若者の公務員離れが進むなか、人材確保対策として、7月18日に近隣4消防本部が南国市消防本部において職業合同説明会を開催しました。



▲詳細はこちらから